

中国・北京科技大学短期留学プログラム 2013 の活動状況報告（9.2 報告）

9月2日

関西国際空港を旅立ち、北京国際空港へ。北京の気温は日本よりも5度ほど低く、快適に過ごすことができました。

現地の先生と合流し、車で北京科技大学へ移動しました。中国の交通ルールや慣れない右側通行に驚きや違和感を覚えました。その後、北京科技大学管庄キャンパスに到着し、現地の学生達に大学内の案内をしていただきました。



関西国際空港にて

中国の大学内は日本の大学と違い、学生ではない現地の人が自由に運動場やバスケットコートを使用していることに驚きました。また、大学内の物品販売所の開店時間が長く、深夜まで店で買い物が出来ることが便利でした。

夕方、歓迎会を開いて下さり、現地の先生や学生のみなさんと一緒に中国料理を堪能しました。日本では珍しい羊の焼き肉や、牛の胃のしゃぶしゃぶ、海鮮サラダなどを沢山いただきました。

どれもこれも美味しく、見た目も良かったです。先生方に自分の名前を中国語でどう発音するのか、中国での食に対する礼儀などを教えていただき、楽しくお腹いっぱいまで食べました。



北京科技大学主催の歓迎会

明日からは、大学内での授業、文化体験や学外見学が予定されています。プログラム期間中に異文化に触れ、学生交流を深めたいと思っています。

デジタルゲーム学科 2年 Y. I

中国・北京科技大学短期留学プログラム 2013 の活動状況報告 (9.3 報告)

9/3 (火) 感想 文:T.I

今日はいろんな珍事件がありました。なんと、昼と夜に停電があったのです。北京科技大学の学生たちもこのハプニングに驚いていました。

まず、今日は初めての中国語の授業の後に書道の時間がありました。みんなで久しぶりに筆を握り、自分が好きな文字を晋、魏などの時代の書体をまねて書いていきました。そして、そこから練習していた言葉を入れて4文字の言葉を清書しました。私は、“孔貴雅言”という、「孔子様、あなたはとてもきれいな言葉をしゃべります。」という意味の文を清書しました。最後は教えて頂いた中国でも有名な先生と一緒に写真をとりました。



夜は町に出て、晩御飯を食べました。日本人でもかなり食べやすい味のお店でお腹いっぱいになるまで食べました。

その後、突然停電があり、少し不安になったのでお互いに各自の事を自由に語り合うことにより親密感が湧きました。また、マクドナルドに行って話をしているうちに電気が戻りホッとしました。その後はバトミントンで遊び、先ほどの不安もどこかに行ってしまいました。中国でも停電は珍しいとのことですが、自分にとっては本当に普段味わえない貴重な体験と感じました。これからの留学中にもいろいろと新鮮な体験ができるものと楽しみにしています。

中国・北京科技大学短期留学プログラム 2013 の活動状況報告（9.4 報告）

中国・北京科技大短期留学プログラム 2013

大阪電気通信大学大学院
コンピュータサイエンス専攻
Y. K

9月4日

中国に来て3日目。本日のスケジュールは

- 午前：出版社見学
- 午後：現地学生と卓球交流

以上の2つです。

午前

日本でも有名な出版社「ポプラ社」、そのグループ会社である「北京蒲蒲蘭文化発展有限公司」を見学しました。こちらでは日本で出版されている絵本を、翻訳・販売をしており、中国オリジナルの絵本も取り扱っています。オフィスを見学後、会議室にて会社の方2名にお話を聞くことが出来ました。

中国では、日本ほど幼少期に絵本を見る機会がほとんどないとのこと。最近では例外もあるようですが、絵本に対する認知度や意識と言うのはあまり高くないとのこと。そういった背景の中で、今後どのように絵本の認知度をあげ、触れてもらうか等といった考えを聞き（あるいはこちらからお聞きして）、あらためて日本との違いを実感することになりました。



北京蒲蒲蘭文化発展有限公司の会議室にて



蒲蒲蘭絵本館にて

また、私は木子先生との共同研究で、絵本を取り扱っている部分があります。絵本の登場人物を LEGO Mindstorms NXT に演じさせ、絵本の世界を表現しようというもので、私は NXT の制御プログラム作成を担当しています。今日の見学訪問は、携わる研究の重要度を再認識するのにとても良かったです。

午後

現地学生との交流！卓球大会をしよう！！

北京科技大管庄校区の総合事務棟の8F エレベーターホールには卓球台が設置されています。昼食後、宿舎から移動し8F にやってきた私達は、卓球大会を始める前

に、国際学院の部屋に案内してもらいました。北京科技大の国際学院は、今回の短期留学プログラムで一番お世話になっているところです。



__人__人__人__人__人__人__人__
> 突然の Kinect <
__Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^__

勢いでやった。後悔はしていない。



飛翔する男

彼はこのあと 3D 酔に苛まれることに…。そして卓球大会へ



エレベーターホールの卓球台にて

青い服の学生は北京科技大学から大阪電通大に留学しにきている張旬君で、なんと

I君と同じ学科の友人！

たまたまエレベーターで一緒になったので参加してもらいました。

1時間ほどわいわいとかわるがわる卓球を楽しんだところへ木子先生の登場。

木子先生「試合で1番の人に景品が有ります！」

一気にやる気になる日本勢。

しかしトーナメントを行い、優勝したのはI君の友人！**なんでや！！**



颯爽と現れ「勝った人は私と勝負」と戦線に参加する木子先生

結果は木子先生の圧勝でした。さすが！！

そして優勝賞品！

実は国際学院が我々に用意してくださった記念品でした！！



北京科技大ネーム入りのボールペンと名刺入れ・キーホルダー

とても素敵なものを頂きました。

最後はこれを持って記念撮影！



卓球大会後、頂いた記念品を手に撮影

以上で短期留学プログラム3日目のスケジュール上の全行程が終了。その後、国際学院の部屋でトランプを使い、交流を図りました。国が違うと、ルールも違いが出て面白いです。夕飯の時間まで、様々な種類のゲームをしつつ、色々と会話をしていく中で、昨日より文化を学ぶことが出来ました。

3日間終了するまでの感想

今回の日本学生3人は中国語に関してほとんど知識がありませんでした。そんな私達だが、ありがたいことに、現地の学生が毎食事に同席してくれていました。

食堂でのメニュー紹介や、食事の注文をするために現地の学生が付き添いで来てくれて、さらに学外での買い物にも付き合ってもらっていました。

これも交流の方法の一つなのかもしれないが、やはり「少くく中国語勉強して来れば良かった」という思いは募るばかり。お世話になりっぱなしなので、帰るまでになんとかお礼が出来るようにしたいと強く思いました。